

栃木県中小企業振興審議会 次第

日 時 令和7（2025）年8月29日（金） 14時から
会 場 栃木県総合文化センター3階第1会議室

1. 開 会

2. 部長挨拶

3. 委員の紹介

4. 議 事

（1）プラン検討部会における検討経過等について

（2）次期産業プラン骨子案（部会案）について

（3）その他

5. 閉 会

《資料》

○資料No.1：プラン検討部会における検討経過等について

○資料No.2：次期産業プラン骨子案（部会案）について

栃木県中小企業振興審議会委員名簿

令和7(2025)年8月29日

■委員

氏名	出欠	所属・職名等
アハ カヅミ 相羽 加津美	欠席	日本労働組合総連合会栃木県連合会副会長
イノウエ カコ 井上 加容子		(一社)宇都宮工業団地総合管理協会監事 ((株)井上総合印刷 代表取締役社長)
イヅマ ナヒト 飯島 直人		(株)足利銀行常務執行役員営業本部副本部長
カサイ ミコ 葛西 美奈子		(株)TMC経営支援センター代表取締役社長
カミヤ ユキノブ 神谷 幸伸		栃木県議会議員
カワハラ ミヨ 川島 美貴代		東日本電信電話(株)栃木支店ビジネスイノベーション部 担当課長
コウブツ マサキ 幸物 正晃		関東経済産業局地域経済部地域振興課長
サイノウ サダオ 齋藤 貞大		(一社)栃木県経営者協会副会長(フタバ食品(株)代表取締役社長)
シタミ チカ 汐見 千佳	オンライン参加	富士フィルター工業(株)代表取締役社長
タカハシ ヨシエ 高橋 美江	オンライン参加	全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会女性経営者の会会長 ((株)ホテルサンシャイン益子館代表取締役)
ハシモト エミ 橋本 恵美		(公社)栃木県経済同友会社会貢献活動推進委員会委員長 (花咲グループ 栃木小松フォークリフト(株))/(株)マテハンソフト/(株)ケイエムシー/(株)マテハンサービス 代表取締役会長)
ハセガワ ヒロシ 長谷川 光司		(大)宇都宮大学データサイエンス経営学部長
フジイ ショウイチ 藤井 昌一		(一社)栃木県商工会議所連合会会長(藤井産業(株)代表取締役社長)
フジガミ マコト 淵上 誠		淵上誠公認会計士事務所代表
マスコ ヒロミ 益子 博美		(株)花のギフト社
ムラタ レイコ 村田 玲子		公募委員(小山自慢(株)代表取締役)
ヤマダ ユウコ 山田 祐子		栃木県商工会連合会理事兼女性部連合会会長(山田牛乳店)
ヤマモト ヒロミ 山本 裕美	欠席	日産自動車(株)栃木工場人事総務部長
ヨコウ ショウイチ 横倉 正一		栃木県中小企業団体中央会会長 ((株)横倉本店代表取締役社長)
ヨシダ シゲキ 吉田 茂樹		(株)栃木銀行執行役員事業支援部長

第 1 回プラン検討部会における検討経過等について

1 部会の概要について

(1) 構成メンバー

長谷川委員（部会長）、飯島委員、葛西委員、川島委員、汐見委員

(2) 開催内容

日時 令和 7 年 7 月 14 日（月）14 時から 15 時

議題 次期産業プランの骨子案について

2 次期産業プランの骨子案（部会案）について

【主な御意見とその対応】

委員意見	その対応
○ どこかに焦点を当てて、とちぎの特徴を出していけるといいのではないか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本姿勢を簡素化し、内容をより明確なものとした ・ これまでの基幹産業に加えて、県の主要となり得る産業を見いだしていく観点から、「戦略 2」に「新たな成長産業の振興」という項目を追加した ・ 「戦略 4」の「企業誘致」や「観光」において、今後、とちぎの特徴を生かして注力していく内容を記載していく
○ 学生に県内企業を知ってもらう取組が必要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「戦略 1」に「○若年層の県内企業への理解促進」という項目を追加した
○ 相談や交流の拠点機能強化が必要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後、「戦略 2」の項目「産学官連携によるイノベーションの加速化」「スタートアップ企業支援」や「戦略 3」の項目「産業支援機関の機能強化」に具体的取組を記載する際に対応していく
○ 観光誘客については、栃木県への宿泊を促す取組が必要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後、戦略 4 の項目「持続可能な観光地づくりの推進」や「国内外の誘客促進」に具体的取組を記載する際に対応していく

1 策定の趣旨

(1) 策定の背景・意義

県では、令和7（2025）年度を目標年次とした「新とちぎ産業成長戦略」に基づき、企業のAI等のデジタル技術の導入・利活用の促進や戦略3産業の振興など様々な産業振興施策に取り組んできた。

この間、人口減少・少子高齢化の進行により人手不足が深刻化するとともに、世界経済情勢が不安定化していることを背景に、物価・エネルギー価格の高騰などの新たな問題が発生している。

このように大きく変化する社会経済情勢に適応しながら、本県の強みを生かし、新たな潮流を捉えながら、本県産業の持続的な発展に向け、本戦略を策定し、各種施策を推進していく。

(2) プランの位置づけ

- ・ 本県産業の目指すべき将来像やその実現に向けた産業振興施策の方向及び具体的な取組を示す本県の産業振興施策の基本指針
- ・ 中小企業・小規模企業振興条例に基づく指針

(3) 計画期間

令和8（2026）年度～令和12（2030）年度

2 本県産業の現状

①本県の産業構造

- ・ 全国有数のものづくり県
- ・ 県内総生産は9兆円を越える
- ・ 中小企業・小規模事業者が県内企業の99%、従業者総数の86%を占める

②製造業

- ・ 過度に一つの産業に依存しないバランスがとれた産業構成
- ・ 製造品出荷額等はコロナ禍後、回復基調

③商業・サービス業

- ・ サービス産業の売上高は令和4年には10兆円に迫る
- ・ 「卸売業、小売業」や「宿泊業、飲食サービス業」等は減少傾向

④企業立地

- ・ 令和6年の立地面積 35ha(全国18位)、立地件数 20件(全国15位)
- ・ 企業ニーズを捉え分譲は好調、産業用地のストックが不足気味

⑤観光業

- ・ 観光消費額は令和5年にはコロナ前を上回る7,226億円
- ・ 観光客入込数、宿泊数についてもコロナ前の9割程度まで回復

⑥雇用・産業人材

- ・ 若年層の県外転出が継続
- ・ 企業の手不足割合が高止まり

3 時代の潮流

①デジタル関連産業の進展

②GXに向けた投資の活性化への期待

③スタートアップによる経済効果の増大

④海外展開等による新たな市場開拓の必要性の高まり

⑤コンテンツ産業など新たな産業分野の成長

4 本県産業が目指すべき姿(将来像)

(1) 本県産業が目指すべき姿(将来像)

「次世代が誇れるとちぎの産業、県民が愛着を持てる地域ブランド」(案)

(2) 基本姿勢

- ①多様な人材が、個々の事情に応じて柔軟な働き方を選択でき、意欲や能力に応じて働きがいを感じながら活躍できる環境を整備する
- ②とちぎの強みを生かしながら、新たな成長が期待できる産業分野やこれまで注力してきた基幹産業分野の躍進を後押しする
- ③地域を支える中小企業・小規模事業者の経営基盤の強靱化を図り、生産性向上と成長機会の拡大につなげる
- ④地域ごとの特性や資源を生かした“とちぎ”ならではの魅力を発信し、人や企業を呼び込む

5 将来像実現に向けた産業振興施策の方向と具体的な取組

(1) 本県産業の持続的な発展に向け、目指すべき将来像を見据え、4つの戦略を基に施策を推進する。

【戦略1】 とちぎの産業を担う人材の 確保・定着・育成	【戦略2】 とちぎの経済・雇用を けん引する産業の創出・強化	【戦略3】 中小企業等の経営基盤の 強化と持続的発展	【戦略4】 人や企業が集うとちぎの 魅力向上・発信
○産業の担い手となる人材の 確保・定着	○戦略産業の強化	○中小企業等の経営力向上と 企業変革への支援	○次世代を見据えた戦略的企業誘致 の推進
○企業の成長を支える人材の育成	○産学官連携によるイノベーション の加速化	○地場産業の振興	○地域資源の活用や県産品の ブランド価値創出の促進
○働きやすく魅力的な環境づくり	○スタートアップ企業支援	○産業支援機関の機能強化	○持続可能な観光地づくりの推進
など	○海外展開支援 など	など	○国内外の誘客促進 など

(2) 戦略的に施策を推進する中で、社会経済情勢の変化や時代の潮流を取り入れ、本県が直面する重要課題に対応するため、分野横断的な3つのテーマを設定し、解決に向けたプロジェクトを推進する。

【テーマ1：企業変革に向けたDXの推進】 産業DX加速化プロジェクト	経営の合理化・効率化や生産性の向上、競争力の強化を図るため、ロボット等の活用を促進するとともに、とちぎビジネスAIセンターを核として、製造業、サービス業、観光業など全産業におけるDXやデジタル化の取組を支援していくほか、DX推進による付加価値創出を目指す
【テーマ2：GX実現に向けた産業成長】 GX産業構造推進プロジェクト	とちぎグリーン成長産業振興指針に基づき、カーボンニュートラルに資する新製品・新技術の研究・開発の促進や製造工程における脱炭素化の促進、経済安保に資するサプライチェーン構築の支援、産業の誘致に取り組む
【テーマ3：女性に魅力ある雇用・産業創出】 女性から選ばれるとちぎ実現プロジェクト	女性に魅力ある雇用・産業創出等に向けた事業戦略に基づき、女性が働きたいと思える産業の誘致・育成や製造業における女性の業務領域の拡大、女性の希望に応じた多様な働き方のモデル創出等に取り組む

1 策定の趣旨

(1) 策定の背景・意義

県では、令和7（2025）年度を目標年次とした「新とちぎ産業成長戦略」に基づき、企業のAI等のデジタル技術の導入・利活用の促進や戦略3産業の振興など様々な産業振興施策に取り組んできた。

この間、人口減少・少子高齢化の進行により人手不足が深刻化するとともに、世界経済情勢が不安定化していることを背景に、物価・エネルギー価格の高騰などの新たな問題が発生している。

このように大きく変化する社会経済情勢に適応しながら、本県の強みを生かし、新たな潮流を捉えながら、本県産業の持続的な発展に向け、本戦略を策定し、各種施策を推進していく。

(2) プランの位置づけ

- ・本県産業の目指すべき将来像やその実現に向けた産業振興施策の方向及び具体的な取組を示す本県の産業振興施策の基本指針
- ・中小企業・小規模企業振興条例に基づく指針

(3) 計画期間

令和8（2026）年度～令和12（2030）年度

2 本県産業の現状

①本県の産業構造

- ・全国有数のものづくり県
- ・県内総生産は9兆円を越える
- ・中小企業・小規模事業者が県内企業の99%、従業者総数の86%を占める

②製造業

- ・過度に一つの産業に依存しないバランスがとれた産業構成
- ・製造品出荷額等はコロナ禍後、回復基調

③商業・サービス業

- ・サービス産業の売上高は令和4年には10兆円に迫る
- ・「卸売業、小売業」や「宿泊業、飲食サービス業」等は減少傾向

④企業立地

- ・令和6年の立地面積 35ha(全国18位)、立地件数 20件(全国15位)
- ・企業ニーズを捉え分譲は好調、産業用地のストックが不足気味

⑤観光業

- ・観光消費額は令和5年にはコロナ前を上回る7,226億円
- ・観光客入込数、宿泊数についてもコロナ前の9割程度まで回復

⑥雇用・産業人材

- ・若年層の県外転出が継続
- ・企業の人手不足割合が高止まり

3 時代の潮流

①デジタル関連産業の進展

②GXに向けた投資の活性化への期待

③スタートアップによる経済効果の増大

④海外展開等による新たな市場開拓の必要性の高まり

⑤コンテンツ産業など新たな産業分野の成長

4 本県産業が目指すべき姿(将来像)

(1) 本県産業が目指すべき姿(将来像)

「次世代が誇れるとちぎの産業、県民が愛着を持てる地域ブランド」(案)

(2) 基本姿勢

- ①柔軟な働き方を選択でき、働きがいを感じながら活躍できる環境を整備する
- ②とちぎの強みを生かしながら、新たな成長産業や基幹産業の躍進を後押しする
- ③中小企業・小規模事業者の経営基盤の強靱化を図り、生産性向上と成長機会の拡大につなげる
- ④地域の特性や資源を生かした“とちぎ”ならではの魅力を発信し、人や企業を呼び込む

5 将来像実現に向けた産業振興施策の方向と具体的な取組

(1) 本県産業の持続的な発展に向け、目指すべき将来像を見据え、4つの戦略を基に施策を推進する。

【戦略1】 とちぎの産業を担う人材の 確保・定着・育成	【戦略2】 とちぎの経済・雇用を けん引する産業の創出・強化	【戦略3】 中小企業等の経営基盤の 強化と持続的発展	【戦略4】 人や企業が集うとちぎの 魅力向上・発信
<ul style="list-style-type: none"> ○産業の担い手となる人材の確保・定着 ○企業の成長を支える人材の育成 ○働きやすく魅力的な環境づくり ○若年層の県内企業への理解促進 など 	<ul style="list-style-type: none"> ○戦略3産業の強化（自動車・航空宇宙・医療福祉機器） ○新たな成長産業の振興 ○産学官金連携によるイノベーションの加速化 ○スタートアップ企業支援 ○海外展開支援 など 	<ul style="list-style-type: none"> ○中小企業等の経営力向上と企業変革への支援 ○地場産業の振興 ○産業支援機関の機能強化 など 	<ul style="list-style-type: none"> ○次世代を見据えた戦略的企業誘致の推進 ○地域資源の磨き上げや県産品のブランド価値創出の促進 ○持続可能な観光地づくりの推進 ○国内外の誘客促進 など

(2) 戦略的に施策を推進する中で、社会経済情勢の変化や時代の潮流を取り入れ、本県が直面する重要課題に対応するため、分野横断的な3つのテーマを設定し、解決に向けたプロジェクトを推進する。

【テーマ1：企業変革に向けたDXの推進】 産業DX加速化プロジェクト	経営の合理化・効率化や生産性の向上、競争力の強化を図るため、ロボット等の活用を促進するとともに、とちぎビジネスAIセンターを核として、製造業、サービス業、観光業など全産業におけるDXやデジタル化の取組を支援していくほか、DX推進による付加価値創出を目指す
【テーマ2：GX実現に向けた産業成長】 GX産業構造推進プロジェクト	とちぎグリーン成長産業振興指針に基づき、カーボンニュートラルに資する新製品・新技術の研究・開発の促進や製造工程における脱炭素化の促進、経済安保に資するサプライチェーン構築の支援、産業の誘致に取り組む
【テーマ3：女性に魅力ある雇用・産業創出】 女性から選ばれるとちぎ実現プロジェクト	女性に魅力ある雇用・産業創出等に向けた事業戦略に基づき、女性が働きたいと思える産業の誘致・育成や製造業における女性の業務領域の拡大、女性の希望に応じた多様な働き方のモデル創出等に取り組む